



SDGs未来都市
北九州市

北九州市における ロボット・DX・GX支援施策

北九州市産業経済局



市内中小企業の**生産性向上・価値創出を実現**させていく。市内だけでなく首都圏のリソースも最大限活かし、**産業界**でいち早くDXにチャレンジし、**住みよいまちを実現**。

地域企業の様々な課題



- ・ 経営者の意識変革が求められる
- ・ 慢性的な人手不足
- ・ 社内DX人材の不足



- ・ 古いシステム、ペーパー管理
- ・ システムがバラバラ
- ・ 場当たりの設備投資



- ・ 費用対効果が分からない
- ・ 予算がない/足りない



- ・ 身近な事例を知りたい
- ・ デジタル機器を体験したい
- ・ ベンダー/専門家と接点がない

地域産業DXに向けて

- ・ **ヒト、モノ、カネ、情報**の全てにおいて課題は山積
- ・ **取組みの進捗も様々**
- ・ DXに取り組む企業の**裾野を広げるとともに、真のDXに取り組もうとする企業を後押し**



北九州市ロボット・DX推進センター



連携 北九州市DX推進プラットフォーム

令和4年4月に、北九州学術研究都市に**北九州市ロボット・DX推進センター**を開設。これまで以上に**市内企業のロボ導入・DX実践に向けた支援を加速**。

ロボット・DX推進センター

場所

北九州学術研究都市
(技術開発交流センター 1階)

業務内容

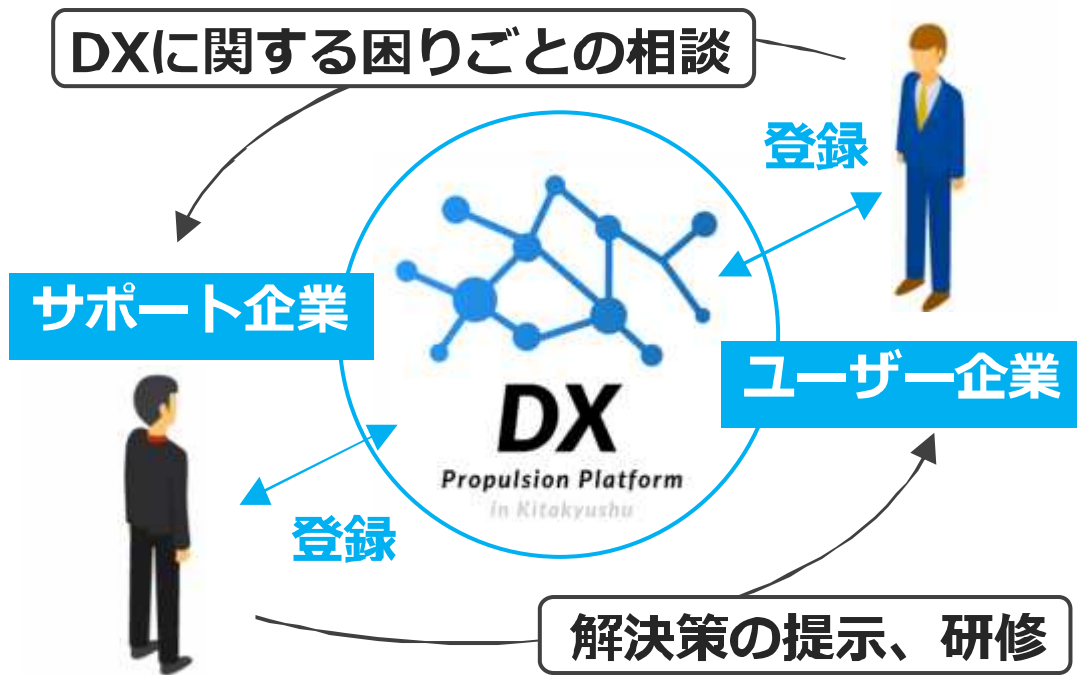
- 生産性向上に関する啓発
- 相談対応やアドバイス
- ロボット、IoT、デジタル化などの先端技術の導入支援
- 人材育成支援
- 地域企業とベンダー、市内大学との連携促進

拠点の機能

- ①**導入総合支援機能** DXに向けた総合的な導入支援を実施
- ②**体験機能** デジタル技術やロボットなどを気軽に体験
- ③**人材育成機能** 企業向け人材育成、大学生のインターンシップ型アルバイト
- ④**集い・つながりの場** 地域企業、SIer、大学、金融機関等の集いの場を創出
※**産学官金の連携による充実化**を図る



DXを推進したい市内ユーザー企業と デジタル化やデータ活用等を提案できるサポート企業を つなぐプラットフォームを創設(令和2.12) **492社参加**



ニーズ・シーズのマッチング

ユーザー企業のニーズとサポート企業のシーズが把握でき、スピード感をもって解決可能



労働生産性の見える化

自社の成長度、会員企業内での立ち位置が把握可能

プラットフォーム ホームページ



プラットフォームでは、次ページ以降記載のセミナー、相談、補助事業等を通じDXを推進。

会員数 492社 (令和5.10時点)

ユーザー企業 293社 (市内企業に限る)

ベンダー企業 199社 (市内外を問わず)

代表企業 (株)YE DIGITAL

事務局 北九州市、北九州産業学術推進機構

ロボット・DXセンターでは、見て・触れて・体験できるロボット、デジタル機器等10種類以上を展示。DXを進めたい企業の導入事例も、冊子や動画を作成し公開中。

展示ルームでのデモ展示



操作教育用ロボット



IoT機器（イメージ図）

事例紹介



DX推進事例集



事例動画（YouTubeチャンネル）



企業の生産性向上・価値創出に向けた相談にワンストップで対応。FAISコーディネーターや市内企業等の専門家が無料で対応。**317件の相談に対し834回の専門家派遣を実施**




相談内容

- ・ web会議の方法
 - ・ オンライン予約システム導入相談
 - ・ w i f i 等ネットワーク環境構築相談
 - ・ 効果的なSNS活用
- など多岐にわたる

ワンストップ相談
専用ホームページ



地域企業の人材育成は重要。経営者のマインドセット、企業内人材の育成に加え、首都圏人材、地元大学の知見も有効活用し、企業のDXを進めていく。

社内 人材 育成	経営者のマインドセット	企業内人材育成
	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4次産業革命への対応力を経営トップ自らが検討できる ・ 日本で唯一のビジネススクール開催 ・ 70人以上受講 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場リーダー・従業員を対象にデジタル、IoTを学ぶ講座開催 ・ 1万円以下で導入できるラズベリーパイなど取り組みやすいテーマ ・ 講座を通じて、DX実践につなげていく
社外 人材 活用	首都圏人材活用	地元大学活用
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北九州に貢献したい首都圏の人材と市内企業をつなぐ事業を実施 ・ 令和3年度新規事業 ・ 不動産DX、事業再構築DXなど ・ 20件以上の案件創出を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有給インターンシップでは、企業のデジタル化の課題を、ITに強い地元大学生が解決。 ・ 企業のDX推進と学生の成長の双方の実現に寄与。地元企業を知ることによって学生の地元就職も期待。

DX推進の補助金制度。社員教育や事前検討、システム導入まで網羅的に補助。専門コンサルによる伴走支援も実施。令和2年度**26件**、3年度**47件**、4年度**81件**の支援実施。

補助金種類	デジタル化枠	DXモデル育成枠	DXモデル枠
概要目的	生産性向上を図るため、市内中小企業が実施するDXの各種取組み経費の一部を補助。		
	社内の業務効率化から始めたい事業者様向け	ビジネスモデル変革に向けた戦略策定から始めたい事業者様向け	新ビジネス創出等、デジタルトランスフォーメーションを加速させたい事業者様向け
交付上限	最大80万円	最大200万円	最大500万円
補助率	対象経費の1/2以内	対象経費の2/3以内	対象経費の2/3以内
対象経費	人材育成・教育経費、製品サービス開発経費、システム導入・環境整備・その他付帯経費		

※記載の内容は令和5年度のもので、既に募集は終了しています

産業用ロボット導入の補助金制度。導入前検証（FS）と導入補助の2種類のメニュー。FAISコーディネータが伴走し、きめ細かくフォロー。令和2年度8件、3年度9件、4年度9件の支援実施。

	導入前検証（FS）補助金	導入支援補助金
概要目的	産業用ロボット導入等の事前検証やFS（実現可能性調査）に要する費用の一部を補助	産業用ロボットを導入または更新に要する費用の一部を補助
対象企業	市内に事業所を有する中小企業で製造業に属する事業を営むもの	
交付要件	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上が目的であること 先端設備導入による費用対効果の算出、生産工程の分析及びロボットシステムの検討等を行う事業であること 	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上が目的であること 産業用ロボットを導入または更新する事業であること
交付上限	最大200万円	最大500万円
補助率	対象経費の2/3以内	対象経費の1/2以内
対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ①人件費 ②外注費 ③その他 	<ul style="list-style-type: none"> ①導入経費 ②付帯経費 ③その他

※記載の内容は令和5年度のもので、既に募集は終了しています

政令市初！



DXに取り組む市内中小企業の表彰制度

- DXで新ビジネスの創出や事業変革する中小企業を表彰する制度
- 企業のDX好事例を表彰し、変革モデル事例として横展開
- 身近な企業の変革事例を紹介することにより、市内企業のDX推進のすそ野拡大を図る
- 企業のDXの取り組みを表彰する制度創設は政令市初

政令市初！ DX優良事例を表彰します！

北九州DX大賞

応募期限 10月27日まで

経済産業省「DXセクション」において、これまで全国で本社が設置している中、北九州市の企業が3社を占めるなど、市内企業のモデルとなる企業が多く生まれつつあります。このような中、より多くのDXによる事業変革事例の創出や、DXを一層推進していくことを目的に、DX優良事例となる取り組みを実施している市内中小企業を表彰し、モデルケースとして他社企業に発信する表彰制度である「北九州DX大賞」を創設いたします！

申請のメリット

- 申請作業を通じて自社のビジネスモデル等が整理され、課題発見や解決策の策定に繋がります。
- さらに受賞企業には以下の特典があります。（補助・費用には上限があります。詳細は別途ご案内します）

- ①受賞の賞金となるボーナスを付与します。自社のPRにご活用いただけます。
- ②自社のホームページや、売上等のイベントにて取り組みをプロモーションします。
- ③年度末以降の市営が審査を行う制度の一部において審査加点等の優遇措置もを行います。
- ④市が提供認定を継続している企業などが実施するDX研修に参加する際の費用を一部補助します。
- ⑤心算のDXをさらに進めるためのDX人材育成にかかる経費を補助します。
- ⑥さらなるDXを進めるための支援を実施します。
- ⑦経済産業省のDXセクションに推薦します。（グランプリ・準グランプリ受賞企業限定）
- ⑧市が提供するDXに関する無料での相談料を免除します。（グランプリ・準グランプリ受賞企業限定）

審査項目

経済産業省が、企業の競争向上に向け実施すべき事項としてとりまとめている「デジタルガバナンス・コード」の項目を中心に審査します。

①ビジョン・ビジネスモデル	②戦略	③組織づくり・人材・企業文化に関する方策
④ITシステム・デジタル技術活用環境の整備に関する方針	⑤成長と重要な成果指標	⑥ガバナンスシステム

⑦北九州地域への対影響

※裏面もあります

みらいつなぐ北九州 60歳

【企業概要】

代表者:西原 靖博 URL:https://www.nishihara-corp.jp/
資本金:35,000,000円 従業員:28名(グループ会社全体:204名)



【主な事業概要】

下記3つの事業会社の経営管理

- ・株式会社西原商事:資源物及び廃棄物の収集運搬・中間処理
- ・株式会社ビートルエンジニアリング:リサイクルプラント運営
- ・株式会社ビートルマネージメント:

環境関連システム及びアプリケーションの開発・提供、環境管理情報一元管理及びコンサルティング

ee-net system



【企業理念】

リサイクル・廃棄物処理事業を通じて、広く社会に期待される企業であること

取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

- ・自社において働きやすい環境を追求し事業の持続可能性を高めると同時に、全国の同業者が抱える課題を解決し、業界全体の更なる成長を促す。
- ・蓄積したデータに基づく分析によって排出者(企業)における資源循環や脱炭素化を支援し、業界を横断してカーボンニュートラル実現を促進する。

【デジタル技術活用 of 取組】

- (1)排出者(企業)向け廃棄物情報一元管理システムを業界に先駆け自社開発し全国リリース(特許/第4664437号)
- (2)廃棄物処理業者向け運行支援アプリケーションの開発と外販準備
- (3)一般家庭向け粗大ゴミ回収のアプリケーションの開発と全国リリース
- (4)資源物自動選別AIロボットの開発と外販準備

【成果】

- (1)企業の廃棄物処理適正化及び、資源循環推進に向けた計画策定の支援
- (2)廃棄物処理業者のDX促進及び、サービスの品質向上
- (3)既存の商圏・顧客(BtoB)から、新たな商圏・顧客(BtoC)の開拓
- (4)中間処理事業者の稼働安定化

(1)~(4)のリリースに伴う新規売上の確保

北九州GX推進コンソーシアム のご紹介

GX



北九州市
CITY OF KITAKYUSHU

カーボンニュートラル・GX実現に向けた動き

政府

北九州市

2020

2050年カーボンニュートラル宣言

2021

2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略

- 成長が期待される14の重点分野について実行計画を策定

2022

北九州市グリーン成長戦略策定

- 2050年ゼロカーボンシティの実現

2023

GX実現に向けた基本方針・GX推進法

- 今後10年間のロードマップ
- 官民GX投資150兆円

2050年CNを成長機会と捉えた変革への挑戦

加速するGX投資

今後10年間で**150兆円**の官民GX投資

GX実現に向けた重点14分野

エネルギー関連産業

洋上風力
・太陽光・地熱

水素
・燃料アンモニア

次世代
熱エネルギー

原子力

輸送・製造関連産業

自動車・蓄電池

半導体・情報通信

船舶

物流・人流・
土木インフラ

食料・農林水産業

航空機

カーボンリサイクル
・マテリアル

家庭・オフィス関連産業

住宅・建築物・
次世代電カマネジメント

資源循環関連

ライフスタイル関連

14

未来のために、今から始める !!

国内外のGX投資を呼び込む

北九州学術研究都市の最先端の研究開発

経営層の意識を変える

GXは変革・成長のチャンス

**カーボンニュートラルが
当たり前前の社会に備える**

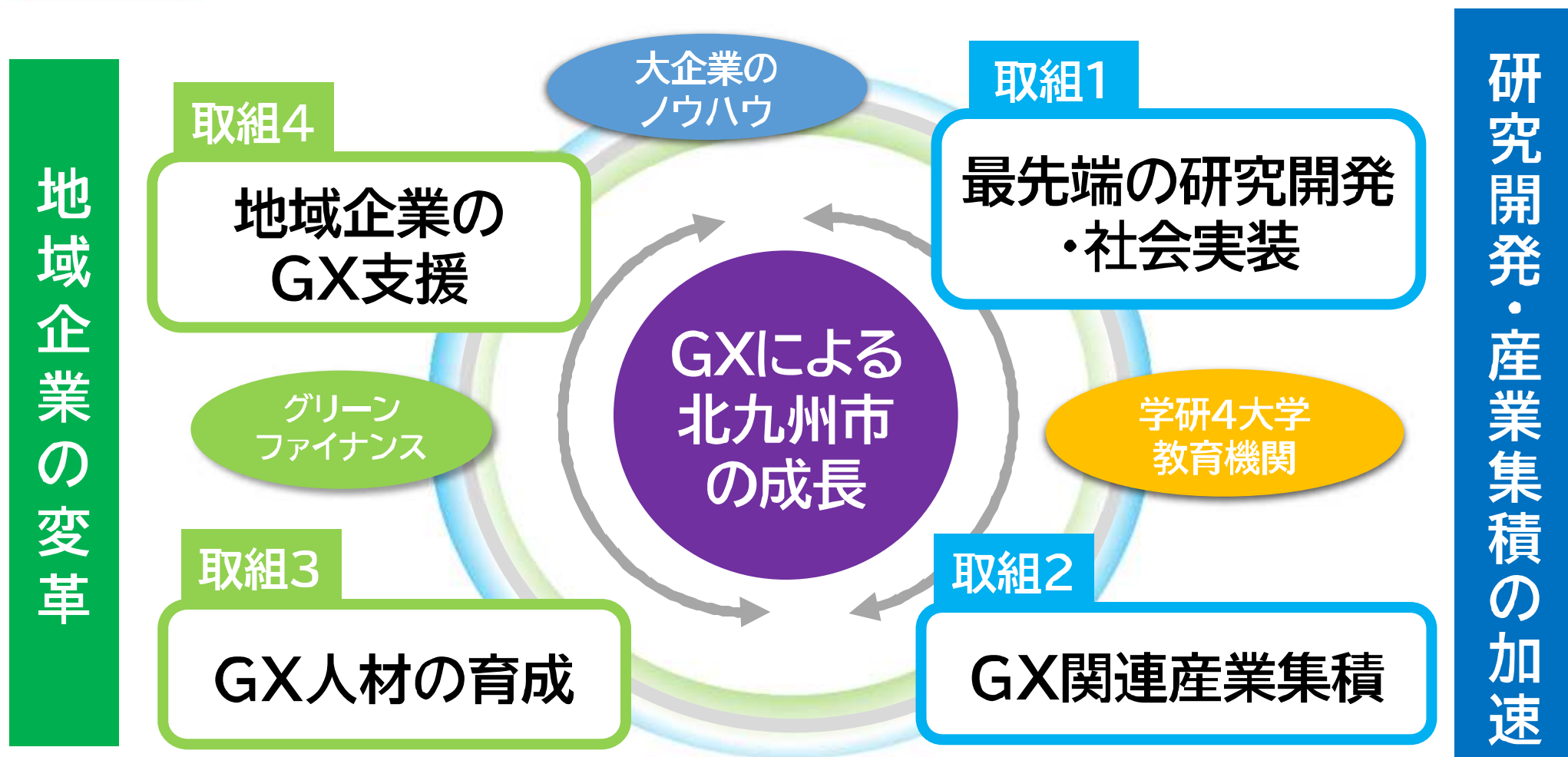
先手を打ったビジネスモデルの変革

GXの流れにいち早く対応

北九州GX推進コンソーシアム創設

ポイント

- 環境系に強い学研の4大学の知見を結集し、研究開発、GX関連産業集積を加速
- 大企業も含めた産学官金のサポートにより地域企業の変革を支援



産学官金オール北九州による推進体制

北九州GX推進コンソーシアム

北九州市のGX実現に向けた産学官金による推進体制を設立

- 名称 : 北九州GX推進コンソーシアム
- 設立日 : 令和5年12月12日
- 構成員 : 北九州市長を会長とした産学官金の下記のメンバーで構成

役職等	名称等
会長	北九州市長
副会長	北九州商工会議所会頭、北九州産業学術推進機構理事長
産	北九州商工会議所、北九州中小企業団体連合会 GXの知見を持つ企業、GXを推進する企業
学	北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学 北九州工業高等専門学校、地球環境戦略研究機関(IGES)
官	経済産業省、環境省、福岡県、北九州市 北九州産業学術推進機構(FAIS) 【事務局】北九州市、FAIS
金	金融機関

コンソーシアムの充実した支援 !!

産学官金
「共創」の場

先端テーマ別研究部会設置

- 次世代熱エネルギー、蓄電池、カーボンサイクル・マテリアルなど

12月12日
スタート

ワンストップ相談窓口開設

- 専門家による伴走支援を実施

全国初

GXビジネススクール開講

- 令和6年1月開講

国内最大
規模

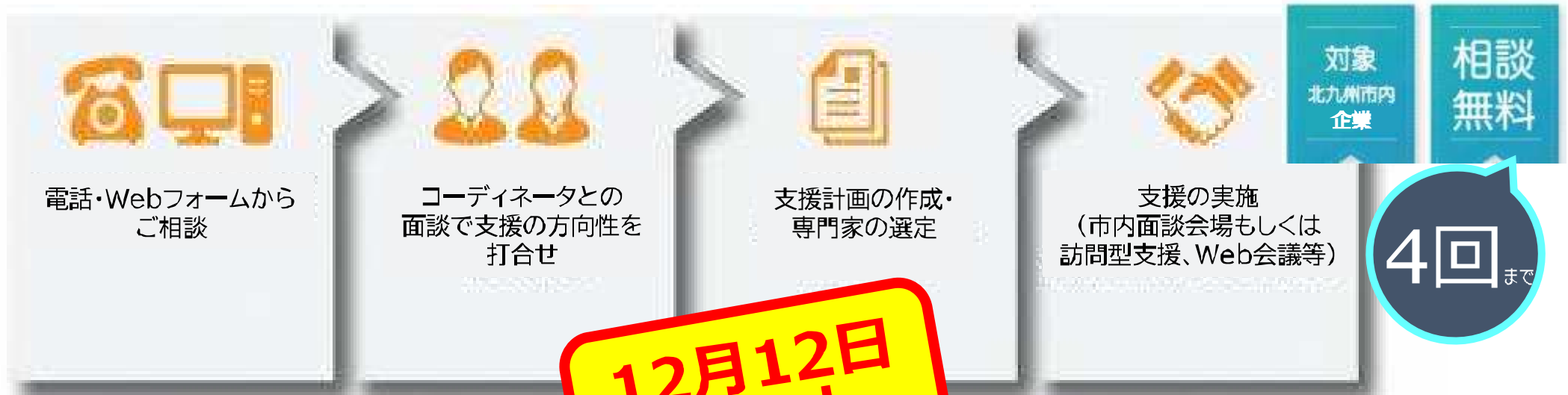
地域企業のCO₂把握支援

- 可視化ツール提供2,000社

きめ細かな伴走支援体制を構築

ワンストップ相談窓口

グリーン成長を目指す企業の相談窓口を設け、
GXの知識・技術を有する「専門家」による伴走支援を実施



専門家

九州電力、西部ガス、IGES、環境テクノス、メンバーズ、フォーバル、
ワイエムコンサルティング、デンソー九州、ドーワテクノス、
三菱UFJフィナンシャルグループ、東京海上日動・・・

本邦初・経営者向けGXスクールが北九州市でスタート

カリキュラム

第1回 GXを捉え、外部対応への準備を整える

第2回 省エネ・再エネの促進

第3回 サプライチェーンを通じた脱炭素化

第4回 DXでGXを実現

第5回 GXを実現するためのビジネスモデル・手段

第6回 GX実現のためのアクションプラン



ビジネススクール
ワークショップ

- 経営層を対象にGXに向けたマインドセット講座を開催
- 講義形式とワークショップを毎回開催

受講者数: 20社 (1社2名まで受講可能)

実施時期: 令和6年1月~3月 (全6回)

令和6年
1月19日開講

20

アクションプランを作成し、先手を打って脱炭素経営に取り組む

地域企業のCO₂把握支援

企業のGXに向けた取り組みの第一歩は、CO₂を把握するところから



CO₂排出量可視化ツールを提供

コンソーシアム会員

国内最大
規模

2,000社

無料

21

※ 希望する北九州市内企業

自社のCO₂を把握して、次のアクションへ

カーボンニュートラルは成長のチャンス !!

GX推進コンソーシアムで実現

学術研究都市での**研究開発**など、北九州の
ポテンシャルを活かした**社会実装・産業集積**

地域企業の**成長・新産業創出**

22

北九州市を「稼げるまち」へ

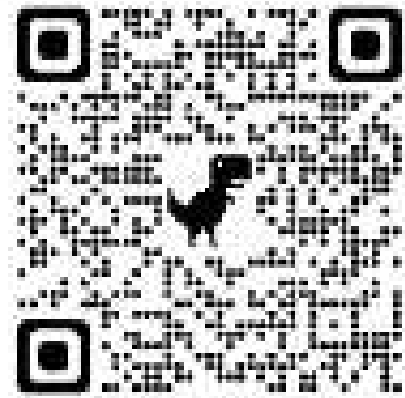
アクセスをお待ちしています！



北九州市ロボット・DX推進センター



北九州市DX推進プラットフォーム



北九州市GX推進コンソーシアム

